

地域情報紙 [月刊]



2025 年 3 月号

発行：株式会社プロジェクト・エース
〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 1-36-9
エールハイム 202 TEL 03-5364-9301
https://projectace.jp/
info@projectace.jp
年間購読料：5,500 円（税込） 毎月 1 日発行 通算 7 号



今月の主な内容

- p1** 杉並区議会 令和 7 年第 1 回定例会
7 年度予算等を審議／区長の予算編成方針
に対する会派代表質問
- p2** 令和 7 年 春の火災予防運動
南洋舎クリーニング店が 3 月末で閉店
マリヤ洋品店が 8 月末で閉店
老舗和菓子店「とらや椿山」100 周年
- p3** 消防団インタビュー
杉並選出の自民都議も不適切処理を謝罪
吉田はるみ衆議院議員
「教育特命チーム」から現場の声を国政へ
暮らしの防災ミニガイド 連載④
- p4** 河北総合病院 新病院開設に向けて 連載⑤
「困った人？」連載②
すぎなみ ace に原稿をお寄せください

特養建替えはどうする？

脇坂たつや議員は、準公共施設と思われる区内特別養護老人ホームの建替えについて、事業継続しながらの大規模改修や建て替えが非常に困難であることから、区としての対応について質問。区長からは「令和 7 年度に各施設の運営事業者へのアンケート調査、ヒアリング等を行い、方針や要望を把握し、個々の事情に応じた支援を考えたい」と答弁があった。

区長体調不良で答弁中断

2 日目の午後の代表質問への答弁中、岸本聡子区長が貧血を訴え降壇。渡辺幸一副区長が代理で答弁し、その後の質問者を翌日に変更するなど日程変更が行われている。翌日の会議には区長は出席。

区長の反論

安斉あきら議員の質問のうち、区民参加の会議体のひとつについて「50～60 人の区民が付け焼刃的に提出した意見」との表現に対し、岸本区長は「参加した区民に対して不適切な表現」と応えた。

「対話」について

「対話の区政」を標榜する岸本区長だが、対話を通じてコミュニケーション力を高め、対話や熟議を通じて区民の区政への参画を促し、少しずつ形になってきた、と語っている。しかし、対抗する会派の議員からは「区長の関心事には答弁するが、その他は自分で答えない」「議員との対話はどうなっている」などの厳しい声もある。区長も答弁原稿に頼らず、もっと自らの言葉で語られてはいいかだろう。具体的な数字や用語はそれに長けている区職員がサポートしても、リーダーとしての区長の言葉が求められる。議員側も対立しているとはいえ失礼な物言いはすべきではない、批判と悪口は違い、見ていて見苦しい。目的やゴールの無い単なる会話の積み重ねではなく、テーマに向けて意見を述べ合う『対話』の議会を期待したい。（中田）

杉並区議会 令和 7 年第 1 回定例会

7 年度予算等を審議
区長の予算編成方針に対する
会派代表質問

2 月 12 日から 3 月 19 日にわたる 36 日間、区議会定例会が開会中である。本会議の代表質問、一般質問に続き、令和 7 年度の杉並区予算を審議する予算特別委員会ほか、各常任、特別委員会が開かれる。本会議では 3 日間にわたり、岸本聡子区長の予算編成方針等に対する各会派の代表質問が行われた。登壇者は杉並区議会自由民主党 脇坂たつや議員、日本共産党杉並区議団 山田耕平議員、立憲民主党杉並区議団 ひわき岳議員、杉並区議会公明党 川原口宏之議員、無所属・都民ファーストの会 安斉あきら議員、維新・無所属議員団 松本みつひろ議員の 6 名。予算の内容、詳細については定例会後半の予算特別委員会で議論されるが、ここでは代表質問で触れられたいくつかのテーマについて取り上げる。



予算編成方針と概要より

- ▶ 一般会計歳出予算 2,456 億 300 万円（前年度比 +227 億 1,100 万円、10.2% 増）
- ▶ 杉並区役所庁舎整備基金として毎年度当面 20 億円積立、15 年間で想定
- ▶ 施設整備基金として毎年 40 億円以上の積立

「防災・防犯用品カタログギフト配付事業」
34 万世帯に各 3,000 円程度、13 億 5,000 万円

脇坂議員が「高額な費用と事務手数料をかけてまで行う必要があるか」、費用対効果などを指摘したほか、安斉議員も「折りたたみヘルメットを配付する方がよいのでは」とカタログギフトに疑問を呈している。



避難所備品の拡充（簡易間仕切りセット、トイレ用収便袋等）、震災救援所食糧備蓄 3 日分配備

旧杉並中継所跡地を災害時の輸送拠点、本庁舎被災時の代替などの地域防災拠点として整備

不燃化（杉六小周辺地区、方南一丁目地区）の推進、耐震化の木造住宅等改修助成に 1 億 1,800 万円、68 棟

都市計画道路事業

区長は予算編成方針の中で「優先整備路線について、関係者との合意形成を図りながら丁寧に事業を進める」と述べ、西荻（補助 132 号線）、高円寺（補助 221 号線）、南阿佐ヶ谷（補助 133 号線）の 3 地域の（仮称）デザイン会議が区民参加で行われており、同会議を通じてまちの将来像実現に向けた議論を深める、としている。

民間賃貸住宅の家賃助成制度

区営住宅の入居者公募に落選したひとり親世帯、多子世帯対象、最大 36 世帯、年間 30 万円助成、予算規模 1,080 万円

転居費用助成制度

低額所得者対象、40 世帯、予算規模 650 万円

商店街実施のキャッシュレスポイント還元事業支援 10/10 補助、上限 500 万円

杉並アニメーションミュージアム開館 20 周年記念事業

荻窪駅南口公衆喫煙場所をコンテナ型に改善

杉並区独自の新たな健康アプリ導入

小児救急医療体制の確保支援

令和 6 年 4 月から杏林大学医学部付属杉並病院が区内唯一の小児の都指定二次救急医療機関となった（河北総合病院が昨年 3 月末撤退）。小児科医の安定的確保と過重労働改善のため医師 3 名分の経費を助成。

ひきこもりの専門相談窓口開設

介護サービス事業所勤務者の研修受講料全額助成

訪問系障害福祉サービス事業所の人件費助成制度創設

子ども食堂立ち上げ・運営支援

区立児童相談所開設（令和 8 年 11 月）

学童クラブ 2 カ所開設

A I 型ドリル活用

学校 ICT 担当課長を外部から登用

拠点校方式による中学校合同部活動 3 校実施

区民、区内拠点団体、若手アーティストへの助成

私たちは すぎなみ ace えーす を応援します！

まちづくりを共に考える
有限会社 トライエム
代表取締役 前田義之
東京都杉並区阿佐谷南 1-34-6
新東京会館ビル

株式会社 アーバンファミリー
アフラック募集代理店
代表取締役社長 榎原裕記
東京都杉並区上荻 1-23-19-4A 東神荻窪ビル
Tel. 03-3391-8808

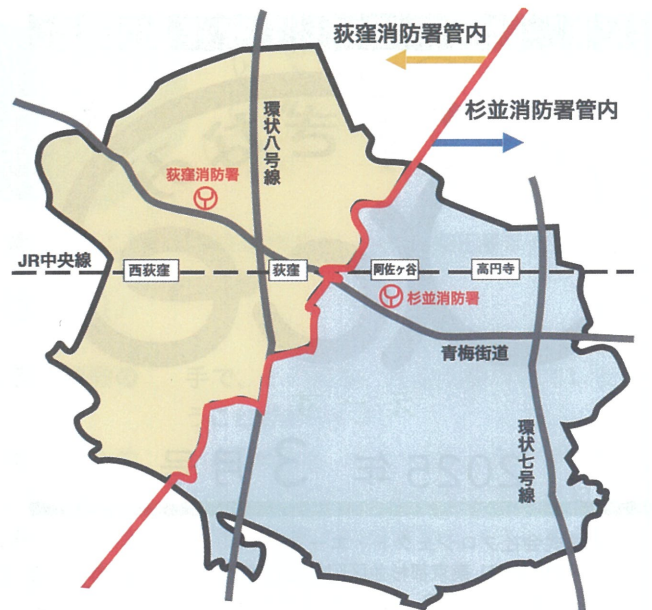
株式会社 渡辺一建設
代表取締役 渡辺功一
東京都杉並区堀ノ内 2-32-4
Tel. 03-3313-3121

令和7年 春の火災予防運動

消防署

モバイルバッテリーなどからの出火が増加！
みんなの意識でまちを守る

3月1日から7日は『春の火災予防運動』。「火災における死者を減らす」「初期消火能力の向上」「防災行動力の向上」などを推進すべく、都内各地で啓発活動、広報活動が行われる。杉並区内には『杉並消防署』『荻窪消防署』があり、今回の火災予防運動にあたり両署からお話を伺った。空気が乾燥して強風が吹く季節であり、ひとたび火災が発生すると延焼拡大しやすいこの時期、それぞれの心がけ、意識がとても大切であることを改めて考えてみたい。また、近年の特徴として、両署共に電気製品関連による火災が増加しており、モバイルバッテリーをはじめとするリチウムイオン電池などからの出火が年々増え、場所や時間を問わず起こりやすいものだけに、すべての人に注意喚起したい。



杉並消防署

杉並消防署管内で令和6年中に発生した火災は86件（前年比17件増加）、火災による死者は1名（前年比1名減少）、焼損床面積は125㎡（前年比393㎡減少）。出火原因としては、「電気設備機器（37件）」が最も多く、「たばこ（8件）」、「放火・放火疑い（8件）」と続きます。特に電気設備機器の火災は43%を占め、増加しています。火災件数が増加した一方、焼損床面積が減少した要因としては、電気設備機器の火災で機器のみが燃えたこと、住宅用火災警報器による早期覚知や消火器具による初期消火により、延焼拡大することなく消し止められたことなどが考えられます。これは、地域の皆様の火災予防対策の積み重ねの結果です。

杉並消防署では、杉並消防団、杉並区、町会・自治会、事業所、自主防災組織等と連携し、各種広報を実施しています。さらに、東京消防庁公式アプリやホームページなどのデジタルメディアを活用した広報活動のほか、広報紙「すぎなみ119」等の紙媒体を有効に活用し

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/fs/suginami/>

た広報を行っています。詳細は、杉並消防署ホームページをご確認ください。

火災からあなたを守る2つの道具

住宅用火災警報器

「10年経ったら本体交換

あなたの家の住宅用火災警報器」

住宅に住宅用火災警報器の設置と維持管理を呼び掛けているが、令和4年中のデータ（東京消防庁管内）によれば、住宅用火災警報器等が設置されている場合には火災100件あたりの死者数を4分の1以下に抑えられている。

消火器具

「持っていますか、マイ消火器」

万が一の火災発生でも消火器具を使用して初期消火を行った場合、令和4年中の火災（東京消防庁管内）においては、約8割が被害を軽減できた。自宅にも消火器を備えることが推奨されている。



取材協力：杉並消防署
予防課防火管理係
消防司令補 有田真章さん



荻窪消防署

荻窪消防署管内の令和6年中の火災は31件で、昭和22年8月の開署以来、最も少ない件数でした。地域の方々の火災予防対策のおかげであり、今後も地域の皆様と力を合わせてこの最少記録を更新したいものです。約半数の13件が電気製品に関する火災で、目立つのがモバイルバッテリーやスマートフォンなどのリチウムイオン電池によるもので、「落とさない」「ぶつけない」ほか、適正な使用を心掛けていただきたいと思います。

火災による死亡を低減するために重要なのが初期消火能力、防災行動力の向上です。町会・自治会などで行われる「まちかど防災訓練」での指導や、公園で不特定の方々を対象にした「5分で身につく防災訓練」など出向き型、地域密着型の事業に力を入れています。

荻窪駅周辺には大規模な商業施設が多数存在します。事業所では災害発生時の従業員の初動対応が重要です。そのため荻窪火災予防協会と協力して各事業所に訪問して消防計画に基づく訓練などを確認し、自衛消防能力の向上を促します。また昨年11月の札幌の雑

居ビル火災を受けて緊急立入調査も実施しています。不特定多数が出入りするようなビルなどでは階段や通路などの避難経路の確認、確保が重要です。

火災予防という観点では、事業所、家庭のいずれも周辺のゴミやモノの置き方など、「放火されない環境づくり」にも目を向けてください。そして、消火器などを備えること、いざというときに使えるようにしておくことも重要です。日々の意識を持って、いざというときに自らを守って行動できる、また周りの人にも、何かあったら手を差し伸べられるように気に掛けてあげてほしいです。



取材協力：
荻窪消防署予防課防火管理係 消防司令補
小出剛さん
予防課査察係 消防司令補 水尾雅美さん

阿佐ヶ谷の話題

昔ながらのクリーニング屋さん 南洋舎クリーニング3月末で閉店



区立産業商工会館にほど近い「南洋舎クリーニング店」（阿佐谷南3-3-18）は約80年、この地の風景の移り変わりをしながら営業してきた。現在の店主、田中昭一さんは幼い頃から父の後ろ姿見て育ち、当然のこととして跡を継いだ。家族で集配もクリーニング作業も行う伝統的なスタイルのお店はいまや減少の一途を辿る。住宅地の中にあるこの場所では近年、有機溶剤を使う機械を更新することが認められず、営業を続けたくても難しいのが現実。田中さんも「機械も入れ替えられず、私たち夫婦も高齢になり、そろそろ潮時かと考えた」と寂しさを滲ませる。中には数カ月、何年も引き取りに来ない客がいるが、これまで預かったものを処分したことはない。3月末にお店を閉めるまでにお

届けや引き取りに来てもらって、それぞれのお客様に大切な衣類などをお返ししたい、とのこと。

溶剤や機械だけでなく、技術や知識も必要なクリーニング専門店だが、工場を別に持つ取次所としての営業が多くクリーニング業の7割以上を占める。厚生労働省「衛生行政報告例」によれば、10年前と比べるとクリーニング業全体で施設数は約3割減、前年比較でもクリーニング所、取次所共に約4%減少し続けている。

衣料品店の老舗 マリヤ洋品店 8月末で閉店



阿佐ヶ谷駅の北口アーケード街から徒歩1分の老舗「マリヤ洋品店」（阿佐谷北2-14-16）が、今年の8月31日で閉店する。肌着からバッグまで、幅広い品揃えの商品を取り扱う衣料品店で、創業は大正末期、



約100年の歴史とともに長く地元民に愛されてきた。「初めは小さな帽子屋で、当時はみんな着物だったから洋服は扱ってなかった」と3代目店主として35年間続けてこられた細田武信さん。店舗が所属する「阿佐谷商和会」は東京で2番目に古い商店街であり、周辺の各老舗店舗や小学校なども長い付き合い。コロナの時はお笑いコンビの阿佐谷姉妹にも助けられたのだと教えて

くれた。閉店の理由は後継者不足と店員の高齢化。地元には年150回も来店される馴染み客もいるとのこと。閉店を惜しむ声は少なくない。

閉店までは平常通りに営業し、月ごとに数日間セールを行う（3月は3/27～30予定）。



老舗和菓子店「とらや椿山」100周年 焼き立て『どら焼き』の実演販売

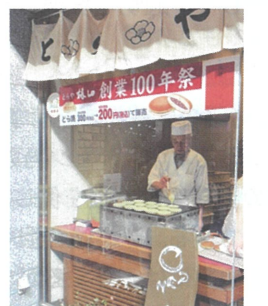
大正14年創業の和菓子処「とらや椿山」（阿佐谷南1-33-5）は、今年で100周年を迎える。阿佐谷南の商店街「パールセンター」で地元の人々に親しまれてきた。

このたび「創業100周年祭」の特別企画として、土日祝日にどら焼きの実演販売を行い、通常価格300円のところ、実演販売時は200円で販売（7月・8月のほか何回か休止予定あり）。3代目店主の坂井潤さんは、「日頃の感謝を形にしたいと考え、いつもとは違った特別な形で提供するため“焼き立て”を実演販売することに決めた」と語る。北海道産の小豆をはじめ、すべて国産の材料に

こだわったどら焼きを「この機会に多くの方々に味わってほしい」との願いから、

実演販売は1年間を通して実施される。

阿佐谷パールセンターも時代とともに変化を遂げてきた。現在約240店舗が軒を連ねているが、長年続く老舗は20店舗ほどに減少したという。坂井さんは「商店街や七夕祭りなど、伝統を存続していくためには、変化を恐れず、新しい挑戦を続けることも大切。100年の伝統を大切にしながらも、変化に合わせて挑戦していきたい」と語っている。



消防団

『消防団』は東京 23 区では消防組織法に基づき消防署の管理区域ごとに設置される組織で、団員は火災や災害発生時に消火活動、救助活動などを行う非常勤特別職の地方公務員。普段はそれぞれの職業があり、いざというときに出勤し、消防署と連携して活動する。令和 7 年 1 月 1 日現在、杉並消防団は 341 名（うち女性 64 名）、荻窪消防団は 279 名（同 80 名）。区内在勤者、学生団員も含まれるが、主に区内在住者で構成される。非常時だけでなく、平常時には有事に備えた訓練のほか、広報・啓発活動で地域と関わっている。その消防団員として活躍されている方々にお話を伺った。

杉並消防団：第一分団



左から鳴嶋恵美子さん、眞柄卓兒さん、安達章久分団長

安達分団長は消防団歴 42 年、父も分団長を務めたほどで塗装業を営む傍ら長年活動してきた。眞柄さんは訪問看護の仕事をして、「何か地元のために自分が出来ること」を考え 4 年前に迷わず消防団に入団。家族や職場の理解も得ながら活動している。鳴嶋さんは出産、子育て、親の看護などに忙しい日々を経て、「何か役に立てるようになりたい」と、10 年前に入団して以来、地域の様々な活動にも積極的に関わることになった。

皆さんが口を揃えて語るのが（消防団に入って）「地域とのつながりが広がった」ということ。防災という視点があるため、

お互いに周辺地域の道路なども熟知しており、つながりが濃い。まさにいざというときに備える心強い存在の「同志」であることがわかる。

3 人とも火災時に出勤したことがあり、主に火災現場周辺の交通整理や警備で、見物人から心無い声を浴びせられたりしたこともあるが、消火作業を支える重要な役割を果たし、それぞれに印象深かった経験だという。

消防団というと火災があったら出勤しなくてはならない、訓練などで忙しい、というイメージを持たれやすいが、「**自分の仕事や家庭の上にある**」「**無理して参加するものではない**」と強調する。地域のネットワークができるだけでなく、知



大宮八幡宮での消防演習

識や技術も身につくが、「まずは自分が火事を起こしてはいけない」と自らを律する気持ちにもなる。最近はこの地域に住んでいてお勤めの人や、自分から入団を希望する人が多くなっているという。

安達分団長は「**自分たちの地域は自分たちで“守る”という『志』を持った人**に是非参加していただきたい」と語る。まさに良き同志とともに、他人事ではなく自分たちでまちを守る力を強化したいとの想いが伝わってくる。

荻窪消防団：第二分団



山田亜里奈さん

山田さんは医療機関の受付事務のパート勤務と子育て真っ最中、消防団は入団 4 年目。防災を強く意識したきっかけは東日本大震災。その時、荻窪駅近くで子どもを連れて買い物に出ており、怖くて子どもを抱きしめて、正直どうすればよいかわからなかった。その経験から、「**もっと知識を持っていなければ**」「**いざというときに行動できるのか？**」を痛感した。

入団して良かったと思うことは、**訓練や学びで自分が成長できるし、周りの人に伝えることができる**、ということ。そして活動が続けてこられたのは、何より**訓練をはじめ活動が「楽しい」、そして「カッコいい」と思える**から。昨年、ポンプ操法大会に分団チームの一員として参加し、都大会で優勝できたことは大きな

喜びであり、励みになっている。地域のイベントや学校で応急手当の訓練や消防演習などにも積極的に参加。団員として地域の方々、子どもたちに声をかけるとしたら「**消火器や AED がどこにあるか知っていますか？**」だという。自分の身の回りのことから、触れて知ってほしいという想いがにじみ出る。

荻窪消防団：第七分団



小美野裕義さん

小美野さんは入団して 21 年目。当時は父の後を継いで米店の商売に邁進しようというタイミングで、地域の

人たちとの関わり、つながりが大切だと思っていたところで誘われて入団した。地域での PRR 活動をするほか、訓練、会議などいろいろな活動場面を通じて、つながり、チームワークの重要性を常にかけているという。続けていくのに最も大切なのは、「**仕事や自身の生活あつての活動**」であるということ。最近サラリーマンで昼間は区外にお勤めの方々の入団が増え、**いろいろなつながり方、拡がりがあるのはとても良いことと受け止めている**。それぞれの得意分野で活動してもらい、災害など、いざという時に**チームとして、タテ・ヨコのつながりの力を発揮して地域を守れる力を鍛えて、それを継承していく**ことを意識して取り組んでいきたいと意気込みを語る。

都議会自民党 政治資金パーティー券収入の収支報告書不記載問題

杉並選出の都議も不適切処理を謝罪

東京都議会自民党は 1 月 23 日、会派が開いた政治資金パーティー収入の政治資金収支報告書への不記載問題について公表。速やかに報告書を訂正し、議員名、金額を明らかにするとともに、幹事長経験者を今年 6 月の都議選で非公認とすることを明らかにした。東京地検特捜部は 1 月 17 日、都議会自民党の会計担当職員を政治資金規正法違反（虚偽記入）の罪で略式起訴している。

杉並区選出の早坂よしひろ都議は自身のコメント（動画）を X などで公開しており、その中で都議会自民党のパーティー券（1 枚 2 万円）の取り扱いについて説明。渡された 100 枚の内の 50 枚分（100 万円）を超える販売収入については各議員の政治活動に使うとしていた慣習を説明し、政治団体間の寄付の取り扱いや収支報告のあり方など、自身の認識の甘さについて反省と後悔を述べている。また今回の件に係る金額について、被災地支援に役立てられるよう寄付に供するとしている。

小宮あんり都議も資金使途は政治活動であったとするものの、会計処理については不適切であったことを認めており、幹事長経験者であることから今年夏の都議選では非公認で挑むことになる。

【両都議のコメント】

早坂よしひろ都議

「この度の不記載問題では多くの皆さまに不信感をお掛けする結果となり、心からお詫び申し上げます。その謝罪と報告の動画を私のホームページや Twitter などに掲載しました。ご覧頂ければ幸いです」

小宮あんり都議

「都議会自民党の収支報告について、不適切な処理があったことをお詫び申し上げます。使途については元々自身の収支報告に記載の通り全て政治活動に費やしておりますが、幹事長経験者の一人として、責任をとり、けじめをつけるため今回は非公認・無所属の立場で臨んでまいります」

吉田はるみ衆議院議員

「教育特命チーム」から現場の声を国政へ

吉田はるみ衆議院議員は 1 月 31 日、阿佐谷地域区民センターで「教育特命チーム」と銘打って勉強会を開催。現役または退職した教員、教員を目指す学生などが参加し、グループワークで積極的に意見交換。教育現場の課題や悩み、

改善案、目指したいことなど、教師としての想いと現実の狭間で苦心している様子や、現場ならではの具体的な切実な声が多く挙がった。吉田議員も各グループから丁寧に聞き取り、国政に反映させたいと意気込みを見せている。

／ 知ってあんしん！ ／

暮らしの防災ミニガイド

第 4 回 忘災（ぼうさい）から防災へ 東日本大震災の教訓

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う「東日本大震災」からまもなく 14 年を迎えます。筆者が関わる企業研修でも「当時小学生でした」と

いう方から声をかけられました。時間の流れを感じると共に、改めて備えを未来へとつなぐ大切さを感じます。

災害は忘れても 備えは忘れずに

物理学者の寺田寅彦（1878-1935）は「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を残したと言われます。近年は忘れる前に起きている印象もありますが、忘れられた教訓もあります。

区内幼稚園での保護者向け研修で津波警報のサイレン音を聞いてもらったところ、参加者 40 人程の中ですぐに分かった方は 2～3 名でした。杉並にいる限り津波の危険はありませんが、旅行や帰省で海の近くに行った際に被災する可能性は令和 6 年能登半島地震でも示されています。



鶴住居小学校跡地に建立された石碑（筆者撮影）

「あなたも逃げて」鶴住居小学校で奥様を亡くした方が石碑に残した言葉です。時が経てば災害の記憶が薄れるのはやむを得ませんが、備えの大切さを忘れてはいけません。100 年、1000 年後も誰もが安心して暮らせるように、一人一人が防災に取り組むことが重要です。

すぎなみ ace 公認 防災ガイド：災害支援・防災教育コーディネーター／社会福祉士 宮崎 賢哉（杉並区在住）

私たちは すぎなみ Ace えーす を応援します！



株式会社 MK ホールディングス

代表取締役 牧野光洋

東京都杉並区堀ノ内三丁目 25-5
Tel. 03-3313-2511



有限会社 ヒロ空間企画

代表取締役 小野博文

東京都杉並区方南 2-12-18 多田ビル 4F
Tel. 03-3318-1073



2025年7月の**河北総合病院**（阿佐谷北）の新病院開院に向けて、各部門の関係者に今後の計画や地域への影響などを伺うこのシリーズ。折り返しとなる第5回目では、杉並区でもいよいよ始まる放射線療法のスペシャリストで、放射線腫瘍科部長である唐澤久美子先生のインタビューをお届けする。新病院での放射線療法の開始（2025年8月予定）に伴い、がん治療への向き合い方について語っていただいた。（辰巳）

がん治療は「切る」だけではありません 「からだに優しい」放射線療法で治るがんが たくさんあります

がんの治療というと、手術による病巣の切除や辛い化学療法を思い浮かべる患者さんも多いのではないのでしょうか。がん治療の大きな3本柱としては、①外科療法（手術）、②薬物療法（抗がん剤などの薬を用いた治療）、そして③放射線療法が挙げられます。このたび新病院で開始される放射線療法は、がんの種類によって手術と並んでがんを完全に治せる治療方法です。手術不能な進行がんでも薬物療法との併用で完治の可能性があります。また、手術前後の補助療法や緩和治療など、様々な角度でがんの治療を行うことが可能です。他のがん治療と比較して、身体的な負担が少なく、治療効果を期待することができます。特に高齢の患者さんなど、身体的に大きな負担を掛けない方法を選択できるのは大切なことです。

杉並区では今まで放射線療法を受けられる病院がなかったため、患者さんの中には他の地域に通院して、治療を受けられた方もいらっしゃるかもしれません。そのような患者さんが、必要な高度治療をより身近で受けることができる環境を整えるべく、当院では2024年4月から放射線腫瘍科を開院し、地域のがん診療を当院で完結できるように準備を進めています。

まずは患者さんのお話をしっかりと伺い 適切な治療方法を一緒に考えていきます

がんの標準治療としては前述の3本柱がありますが、個々の患者さんしっかりと向き合い、ライフスタイルや治療に対する想いに沿った治療方法の選択をしていく必要があると考えています。今や2人に1人以上はがんになる時代ですから、がんは特別な病気ではなく普通の病気となっています。したがって、患者さんがいかに今までと同様な生活を送りながら寿命を



アキュレイ株式会社 ラディザクト (Radixact®)

延ばしていくことができるか、またそれを踏まえた治療の選択肢にはどのようなものがあるのか、患者さんと私たち医療従事者が一緒になって考えていくことが大切です。そのために患者さんご自身も、がんという病気やその治療方法にはどのようなものがあるのか、きちんと理解を深めていただく必要があります。例えば、放射線療法の最大のメリットは、機能と形態の温存が可能などところにあり、欧米ではがん患者さんの半分以上が放射線療法を受けています。日本には放射線療法が可能な施設や設備は多く、対応できる医師や技術者などの専門家も少なくないのですが、残念ながら放射線療法を選択する患者さんはまだまだ少ないのが現状です。

私は「がんを治す医師になりたい」とこの分野に進み、取り組んできました。医療はその人の人生をよくするためのものであるべきです。地域の皆様にもっと病気や治療のことを知っていただき、一緒に考え、治療に向き合っていきたいと思っています。

河北総合病院 放射線腫瘍科部長

唐澤 久美子（からさわ くみこ）

日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医

日本医学放射線学会放射線科専門医・研修指導者

日本乳癌学会乳腺専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本癌治療学会臨床試験登録医



すぎなみ ace はこちらに置いていただいています

アママコムギ(本天沼)／石井薬局(阿佐谷南)／大蔵保険コンサルタント(天沼)／おきやんち(阿佐谷北)／オートセンターイグチ井草店(井草)／カレーショップ KYU- (阿佐谷北)／河北総合病院(阿佐谷北)／高円寺南保育園(高円寺南)／興建社(荻窪)／さんじゅ阿佐谷(阿佐谷北)／さんじゅ久我山(久我山)／視覚障害者支援総合センター(桃井)／新泉サナホーム(和泉)／杉並区立中央図書館／西武信用金庫 阿佐ヶ谷南支店(阿佐谷南)／とらや椿山(阿佐谷南)／PIZZA FORNO CAFÉ ピーンズ阿佐ヶ谷店(阿佐谷南)／マイルドハート高円寺(高円寺北)／ミスティーオーパス(阿佐谷南)／武蔵商事(上荻)／Yazetto(阿佐谷北)／渡辺建設(高円寺南)

MISTY
OPARS
COFFEE&TEA SHOT BAR
ミスティー オーパス

杉並区阿佐谷南 2-16-8 Tel. 03-3317-3434

私たちは すぎなみ ace を応援します！

「困った人？」

発達障害・パーソナリティ障害を
みんなが理解すれば……



『あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する』(著者：柴田豊幸氏)より

第2回 発達障害とは？①

「発達障害」といっても、実は複数の疾患が含まれています。

脳機能の発達にデコボコがあるために起きるこの発達障害には、主に ASD (自閉症スペクトラム障害)、ADHD (注意欠如・多動性障害)、LD (限局性学習障害) の3つが挙げられ、いずれも生まれつき抱えている障害と言えます。職場で悩みや問題になりがちなのは ASD と ADHD ですが、重なり合い、複数の疾患を抱えているケースもあります。

ASD は、暗黙のルールがわからない、空気や人の気持ちを 읽むことが苦

手で、その結果、他人を傷つけてしまうことがあります。

ADHD は、そそっかしいですが悪気のないタイプで、時にトラブルが起きた際には暴力的な言動に出してしまう場合があります。

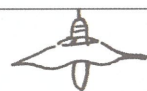
もちろん、このような症状がいくつか見られたからといって、障害やこころの病気であると一概には言えません。まずは「困った人」と思われがちなその人たちが抱える「生きづらさ」が個性へと転じるように、周囲の人たちも疾患への理解を深め、協力して向き合える環境づくりを進めたいものです。



【著者紹介】(株)チャイルド社会長・(株)幼保経営サービス社長のほか、パピーナ保育園ほか各地の保育園総園長や社会福祉法人理事長などを務め、自身も保育士資格を持つ。地域では荻窪法人会会長、東京商工会議所杉並支部副会長、杉並区社会福祉協議会理事など。

【著書・監修】『あなたを悩ます困った人 障害やこころの病気を理解する』『選ばれる園になるための実践マニュアル』『どうする！園の赤字』『園の働き方改革』など多数

障がいやこころの病気について考える



編集長のつぶやき



小さなメディアにも意義と意地！

夏の都議会議員選挙に向けて発足した新政党「再生の道」、石丸伸二氏の立ち上げ会見は対象をマスコミとユーザーの多いネット系メディアに限り開催された。その点について質問された石丸氏は「登録者数の少ないユーザーとしかつながる場は醜悪だが、ネットを駆使して選挙戦を繰り広げる人の言葉としては残念である。私は、政治家はきちんと語り、それをいろいろな

角度で多くの人に伝え、評価される必要があると信じている。その意味で対話は必要である一方、時間ばかり費やして、目的を曖昧にした会議や集会を繰り返すのは違うと思う。

いま開催中の区議会本会議を傍聴していて、同じような質問と同じような答弁が繰り返されると少々がっかりするが、時に独自の視点や調査、考えに基づく質問、発言があると応援したくなる。それを読者、地域の皆さんがどのように判断するか、その材料をお届けするのが私たちの仕事と思っている。小さな紙面、まだまだ部数も少ないが地域に情報をお届けする意義はある、と改めて肝に銘じたところである。

編集発行人 中田あかね

すぎなみ ace に原稿をお寄せください

『言葉にしてみませんか？』

SNS など発信が気軽にできる今だからこそ、考えて、文章にして、活字にして、他の人たちと共有することにこだわっています。意見交換や発表の場、情報発信のツールのひとつとして、是非ご参加ください。

★時々思うこと、意見や提案として言いたいことなど、1回1テーマ「400字程度」で
★趣味のご紹介や家族やペットの心温まるできごと、会社やお店で出会った素敵

すぎなみ ace で
「地域の皆さんの声」を
活字にして発信します！

な話、エッセイや俳句、川柳なども歓迎！

★編集部には住所、氏名をお知らせいただきますが、掲載はご希望により匿名もOK
編集、掲載にあたってご連絡をする場合があります。紙面の都合で字数調整等のご相談をする場合もありますので、あらかじめご了解ください。

【メール】info@projectace.jp

